

第 65 年度（平成 30 年度）事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

1. 研究助成金の交付

◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員（シオノギ関係者を除く）からなる選出委員が候補者を選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。被選出者との直接の利害関係者は選考に加わらないよう選出内規に定めている。

◇「特別研究助成」

大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。応募者との直接の利害関係者は選考に加わらないよう選考内規に定めている。

2. 研究成果報告

- ・塩野義製薬株式会社 医薬研究センターにて、「第 37 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催する。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

3. 助成の募集

- ・「平成 31 年度特別研究助成」の公募を行う。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

1) 研究助成（全国対象：50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象, 250 万円/件・年) :

2 年目 : 2 件、 新規 : 2 件

計 4 件 計 1,000 万円

総計 24 件 計 2,000 万円 を交付予定

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 第 37 回 研究助成発表会の開催

平成 30 年 7 月 25 日 (水) 午後 1 時から

於 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町 3-1-1)

プログラムは【別紙 2】の通り。

助成期間が終了した、平成 26 年度新規「研究助成」交付者および平成 28 年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費 : 300 万円

3. 助成の募集他

「平成 31 年度特別研究助成」の募集テーマを決定し、公募する。
また、選考委員会を開催し、審議する。採択数は 1~2 件程度の予定。

これら公益目的事業推進費 : 454 万円

事業費総計 : 2,754 万円

4. 公益事業拡大に向けた検討会

公益事業拡大に向けた検討会を年数回行う。

以上

平成 30 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所属 (申請時)	研究者	研究テーマ
4 年目	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)	矢倉 隆之	グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用
4 年目	京都薬科大学 生薬学分野	中村 誠宏	メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索
4 年目	東京薬科大学 薬学部	矢内 光	強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発
4 年目	首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース	安藤 香奈絵	神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム
4 年目	滋賀医科大学 薬理学	今村 武史	糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み
3 年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
3 年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
3 年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
3 年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
3 年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
2 年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発
2 年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
2 年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
2 年目	国立研究開発法人医薬基盤・ 健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
2 年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
新規	岡山大学大学院医歯薬学総合 研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
新規	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
新規	京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
新規	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
新規	北海道大学大学院保健科学研究 院	古川 貴之	リゾホスファチジルエタノールアミンに関する化学生物学的研究

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×4 件 = 計 1,000 万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
2 年目 第 1 位	京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野	大野 浩章	低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用
2 年目 第 2 位	大阪大学大学院薬学研究科 天然物化学分野	古徳 直之	統合的戦略に基づく新規 PPI 阻害剤の創製
新規 第 1 位	大阪大学大学院医学系研究科神 経遺伝子学	宮崎 雄	神経変性疾患の RAN 病態に基づく新規治療標的の探索
新規 第 2 位	滋賀医科大学 神経難病研究セ ンター	森 雅樹	小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子を用いた遺伝子治療の実現

以上

第37回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 平成30年7月25日(水)13時00分から17時25分

場 所： 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム

(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

06-6331-5105【事務局直通】、06-6331-8081【代表】

※講演順、演題等は変更となる場合がございます。

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演25分、討論10分)

座 長

13:05-13:40 1. 抗多剤耐性結核菌活性を有するcaprazamycin類の合成研究

竹本 佳司 先生
(京都大学大学院薬学研究科)

村橋 俊一 先生

13:40-14:15 2. 肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性
エフェクター分子の解析

富田 修平 先生
(大阪市立大学大学院医学研究科分子病態薬理学分野)

岩尾 洋 先生

14:15-14:50 3. 蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、
細胞生命現象・in vivo微小がんイメージングの実現

浦野 泰照 先生
(東京大学大学院薬学系研究科 薬品代謝化学教室)

廣部 雅昭 先生

14:50-15:25 4. 有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割

加藤 将夫 先生
(金沢大学医薬保健研究域 (薬学系))

寺崎 哲也 先生

15:25-15:40 休 憩

15:40-16:15 5. 希少糖 (レアシュガー) の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響

鈴木 拓史 先生
(山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース)

伊勢村 護 先生

16:15-16:50 6. 《特別研究助成》
福山型先天性筋ジストロフィーの中樞神経症状に対する
細胞移植治療法の開発

池田 真理子 先生
(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野
こども急性疾患学部門)

塩野義製薬(株)
研究員

16:50-17:25 7. 《特別研究助成》
ラミンA/C遺伝子関連心筋症におけるヒトiPS細胞・
ラットモデルを用いた病態解明・治療法開発

牧山 武 先生
(京都大学大学院医学研究科循環器内科学)

塩野義製薬(株)
研究員

以 上